



如
水
里
記

遠 9
1948



Handwritten text in a cursive script, likely the beginning of a section.

Main body of handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of dense writing.



Handwritten text in a cursive script, including a section enclosed in a circle on the left side.





鳥文齋榮之翁古圖

香蝶樓國貞



わーのいしにのりてあはれいしに一年を西
よららしむるに西まのちよ
あはれ人まはれんはつとまて大馬に
此中まのちあはれがー引入てゆくはま
いさうつりけりかかーあまを杖のゆき
らわくまーいし駒を堂まのち
今の駒形堂あーくまをくあづるま
よらら大川橋をいあまのち
とてま

何處春霞起花川戸羊関風梳助六柳波波

意休谷 とうらぎー 五つり 魚はま
河上ーあまーかに流るまのち舟のあ
まま 大馬のあーいしと腰ま
むらさきれ中まのち波う
此まのちあまのちまのちまのち
注原の布袋和尚のびあまのち
三圃のまのちのあまのちのまのち
おまのちまのちまのちまのち

とくは年のびるものなるにやとてあはれ
くはらしむるはなほとてあはれ
野のこゝろはなほとてあはれ
うらやまのこゝろはなほとてあはれ
錦織のちかやとてあはれ
はなはとてあはれ
あはれとてあはれ

あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ
あはれとてあはれ

蜀山先生隱里之記天明元年辛丑
 之春偶然所草一時戲墨也移換若
 駒隙五十六年于此可謂已舊今新
 上梓以贈同好之人云
 天保丙申
 花笠野史



四才志



